

◎＜KKKH＞ 知っていますか？（子育て支援リーダー養成講座・第7回）

10月21日 山梨県立大学講堂

子育て支援リーダー養成講座の最終回です。テーマは「子育て支援リーダーの役割」でした。前半は白梅学園大学学長の汐見稔幸先生による講演「支援の原点の再確認―“関係作り”ということを中心に」でした。講演の中で、子育て支援をする際のコミュニケーションの方法として、KKKH方式コミュニケーションのお話が出てきました。これは「**聞く**」「**共感する**」「**考える**」「**励ます**」の頭文字をとったものです。説得するのではなく、共感することで温かい支援ができること。私たちの教育活動にも当てはまる場面があると思います。後半は「地域子育て支援者交流会発表会」で、8つの地域が自分たちで取り組んだ事業を発表しました。8つのテーマは①子育てほっとタイム～みんなで楽しい子育てを見つけましょう～ ②みんなおいで♪子育てまつり♪ ③支援中の喜びや悩みを語りませんか！！ ④支援者同士の交流会&スキルアップ ⑤地域の親子の交流を深め、子育て支援の情報を伝える ⑥秋を楽しもう！ ⑦教えて！みんなの子育て～市町村別の子育て支援の特徴 ⑧おやこであそぼう。最後は57名の受講者に社会教育課から修了証が授与されました。今後はリーダーとなられた皆さんが各地域で活躍されることでしょう。



◎伊藤知治教士八段剣道教室

11月3日（木） 大月市勤労青年センター

約100名の剣士が参加し、本年度も伊藤知治教士八段剣道教室が開催されました。伊藤先生からは技術指導だけではなく「謙虚・素直・情に厳しく・精神力・集中力・思いやり・繰り返し」など生きていく上で大切にしなければならないことを教わりました。伊藤先生と手合わせをした高校生からは、「風格があった」「気迫がすごい」「自分の弱さを知った」「努力しないといけない」「素振り一つでも大事にしたい」等の声が聞こえました。子ども剣士達の表情を見て「ほんもの」と接することがいかに貴重な経験となるかを感じました。子どもたちに夢と希望を育む貴重な教室となりました。



*参考（教育振興基本計画より）

伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、我が国や郷土の伝統・文化を受け止め、それを継承・発展させるための教育を推進する。（省略）さらに、我が国固有の伝統的な文化である武道の振興を支援する。



（参加者）



（指導中の伊藤先生・気迫）



（笑顔）

◎南都留教育フォーラム 11月4日(金) 下吉田第二小学校

＜テーマ『子どもたちの教育は地域全体で担う』（みんなで育む地域連携・地域交流）＞

本年度も約300名が参加し、富士吉田市長、都留文科大学学長、健康科学大学学長を来賓に迎え、南都留教育フォーラムが開催されました。全体会の中のアトラクションでは、西浜中学校の3年生が双龍太鼓を披露してくれました。体育館全体に響き渡る素晴らしい演奏で、生徒達の気持ちが伝わってきました。その後の分科会では7つに分かれ、活発な討議が行われました。都留文科大学と健康科学大学から助言者として7名の先生方にアドバイスをいただきました。



【分科会で提案していただいた方々】(敬称略)

足和田保育所・下吉田第二小学校・河口湖北中学校・富士東部教育事務所ソーシャルワーカー
県観光部(観光資源課、富士山レンジャー)・谷村工業高等学校・富士北稜高等学校
富士河口湖町子ども教室 fun fun くらぶ・富士河口湖町河口地区育成会連合会・都留青年会議所
・富士小学校・ふじざくら支援学校・東桂小学校 PTA・富士豊茂小学校 PTA

*参考(教育振興基本計画より)

地域全体で子どもをはぐくむことができるよう、その教育力を高めるとともに、地域が学校を支える仕組みを構築する。このことを通じ、地域の絆や信頼関係を強化し、より強固で安定した社会基盤作りにも資する。



(会長挨拶)



(助言者の先生方)



(西浜中学校演奏)



(分科会の様子)

◎児童生徒連絡協議会関連

【河口湖町長さんと語る会 11月1日(火)】 【富士吉田市長さんと話す会 11月2日(水)】

【都留こども議会 11月15日(火)】

各地域でそれぞれの首長さんとの直接対話ができる会が催されました。各小中学校の代表の児童生徒が直接行政の最高責任者や幹部の方々と話ができ、その意見を行政に反映することも可能です。地域の高校の生徒会執行部も参加し児童生徒にアドバイスしたり、一緒に意見を考えたりしていました。小中高の縦の連携が取れた事業です。



(活発な発言)



(議場を使って)

《中学生の活躍》



・第53回山梨県中学生交通安全弁論大会 優勝

＜都留市立都留第一中学校3年 小池 花乃 さん＞ 題名「中学生も交通安全意識の改革を」

・第31回全国中学生人権作文コンテスト県大会 最優秀賞 甲府地方法務局長賞

＜都留市立都留第一中学校2年 菅谷 鈴夏 さん＞ 題名「由夏ちゃんからの贈り物」

小池さんは、中学1年の時に、自転車登校中に小学生と接触事故を起こしそうになった体験から、交通事故の加害者としての怖さや安全への意識の向上、人の命の大切さを訴えました。また、菅谷さんは従姉妹の由夏ちゃんの障がいを通して、家族の在り方、人間の生き方や幸せ、差別そして人権について強く伝えています。中学生二人の純粋なメッセージからは大人が学ぶべきことがたくさんありました。